

日本商工会議所青年部

令和2年度日本ネットワーク委員会415事業

日本YEG都道府県別415単会会長とのWEB懇談会

議事録

開催日	令和2年6月13日	時間	10:00 ~ 11:00
連合会名	西 地区	近畿 ブロック	和歌山 県連
出席単会名	田辺・海南・紀州有田・和歌山・新宮・御坊		
出席者数	21名		
貴単会が行っている 主な事業 (継続・単年)	田辺	単会事業としては4月、5月中止。総会は書面決議にて実施。単会内の会員向けに現在の事業所状況についてアンケートを実施し市長へ報告。WEB会議を実施したが対面と比較しなかなか話が進まないことを実感した。6月までは単会事業は自粛。7月から対面での例会の再開を行う。	
	海南	欠席	
	紀州有田	4月末書面決議にて総会を実施。5月までは事業は難しい。6月14日からの週でWEB上での事業再開を検討。WEB上でコロナ対策の支援説明会を実施。WEB懇親会を実施。40分の会議が5部屋(200分)続きメンバーの話したいことが多くあったように感じている。ソーシャルディスタンスを保ちつつ年間の順番を入れ替えながら事業展開を考えている。	
	和歌山	4月は緊急役員会を実施し、5月総会はZOOMで行った。3役のみ集まって実施。決議は書面にて実施6月末まで活動自粛をしている。ZOOMで委員会会議を行っている。7月に今年度初めて例会をし所信発表を行う。ZOOM、SNSの会議を学んでほしいと感じている。今後においてハイブリット式を考えている。役員会を模索(自決権を持たせるのかどうか検討)このようなツールを活用した取り組みをしていくことも必要と感じている。ロゲイニングという地元の観光名所、飲食店など紹介し楽しみながら足を運べるポイント制度を活用している。	
	新宮	5月初旬に新型コロナに関するアンケートを実施し会員より90%回答を得られた。80%事業者が3月から5月の売上減少があり、今後も減少が予想されると回答。50%が今後資金繰り悪化と予測している。YEGとしてはパーティーの寄付100枚と50枚計150作成し6月20日に寄付をする。1000円のクーポン券をつくり実店舗に足を運べる仕組みづくりを考えている。市長要望も行き、6月議会に上程する。今回の取り組みは親会にもバックアップしてもらっている。オールYEGで団結し事業展開していきたい。	

	御坊	<p>総会は4月に実施し書面決議で開催した。4月、5月は活動中止している。グループラインで協議した結果ZOOMで会議行った。6月16日にソーシャルディスタンスを保ちつつ例会開催。コロナ関係の助成金、給付金制度のお話をし、不参加者向けにWEB配信実施を考えている。</p> <p>親会はすべて中止の判断であるためYEGでの進め方について協議。商工会議所としては責任の所在について不安視。不安を覆すことがないか考えている。7月以降も例会実施 スポーツ例会を毎年行っている。(体育館などで行うかどうか場所なども検討)</p>
まとめ	中川県連会長	<p>県連としては6月までの活動自粛。役員会、総会はWEBにて実施。7月から御坊YEGでの役員会をかわきりに対面方式とする。11月にYEG育成事業、交流会を予定。</p> <p>1月末に県連大会を予定。近畿ブロック大会、全国大会には県連として積極的に参加していきたい。コロナ自粛が田辺でもあるがどこまでの自粛をしていけばよいのか日本からの指針があると良い。</p>
	横田代表理事	<p>単会会長、米良会長の話から経験したことのないコロナの状況から方向性についての悩みを感じた。よりスピーディーに細かく学んだことや指針を伝えることが役割としてあることを実感している。</p>
	松本プロ代	<p>このコロナ禍において決断をされながら取り組みや今後についての話を聞き勉強をさせていただいた。事業再開に向けて進めていく。近畿ブロック役員会については7月御坊にて対面での現地開催で進めていく。</p>
	米良会長	<p>活動再開についてのガイドラインについては親会の御意向に左右されるため日商の許可が必要である。</p> <p>5月21日親会のWEB議員総会があり同席。</p> <p>北海道大学西浦教授より8割の活動削減が言われており、2mソーシャルディスタンスを保ち、最低で1mが必要とのこと。個人的には換気ができる場所であれば活動しても良いと思っている。屋外なら良いのではないかと考えているがお互いに飛沫感染エチケットは必要である。</p> <p>日本経済を考えるうえで地域経済は切り離せないことから地元単会の盛り上がりは必要不可欠である。単会では難しいことは県連で連携し行い県連で難しいことはブロックでそこでも難しいことは日本でという流れで行っていくことが望ましい。潤滑油的役割として日本YEGが担っていると考えている。情報は共有していきながら電話やZOOMなどでメンバーに寄り添えるようにし単会会長、県連会長を引き受けた時のように初心にもどり地域経済を盛り上げてほしい。</p>